

# CENTENARY

2008. 4. 14  
第 1 号  
兵庫県立加古川西高等学校



教育目標 人格の形成

## 着任のご挨拶 離着任者

この度、96年の歴史と伝統を有する加古川西高校に着任できましたことを光栄に存じています。

今までの勤務校は、東は阪神地区から、西は西播磨地区まで、課程は、全日制と定時制、校種では普通科・職業科など。

その中には、県下有数の進学を誇る学校から、年間20件近く対教師暴力が発生する学校までありました。

これらの数々の経験をともに、百周年を迎えようとする本校のために、さらには兵庫の教育のため、緊湊一番、全力で取り組み所存です。



例年のことですが、春は新しい出会いと、寂しさが伴う別れの季節でもあります。このたび本校を去られることになりました教職員は、市村 豊校長(退職)・中野貞弘教頭(退職)・澤田友二教諭(退職)・永田登喜代教諭(退職)・松尾一美教諭(退職)・中安嘉幸子教諭(退職)・柴崎千晶教諭(明石北)・真弓香代子教諭(三木)・辛川和人教諭(姫路東)・石垣三枝子課長補佐(退職)・高瀬好清

臨時校務員(東播磨)・大久保芳樹臨時校務員(加古川北)の方々です。

そして、新しく着任されました方は、増尾禮二校長(西脇工業より)・橋本英俊教頭(明石西)・西面尚仁教諭(但馬農業)・井上正仁教諭(小野)・永富篤郎教諭(姫路飾西)・高橋より子教諭(明石北)・榎本律子教諭(東播磨)・大西弘幸教諭(伊川谷)・篠倉充代教諭(東播磨)・中谷佐代子課長補佐(県立農業)・喜多孝浩臨時校務員(県立農業)・増井悠介臨時校務員(神戸甲北)の総勢12名の方が入れ替わりました。



## 二年生 教育合宿

4月28日(月)から30日(水)までの2泊3日の予定で、南あわじ市にある国立淡路青少年交流の家で教育合宿が行われました。

この合宿の目的は、本校生徒として、また学校生活を送る上で必要な事柄を身につけることです。

その内容は、伝統や校風を理解し、自学自習の習慣を身につけたり、集団としての規律や行動を学んでいくことです。勉強や訓練の時間が多くを占めますが、一方で潮騒に耳を傾け、潮のにおいをかぎながらのホステリングなど、コミュニケーションを深め、クラスの団結を高めることも重要な目標ともいえます。帰校後の成果が楽しみです。

ちょっと一言 このミニ新聞の表題の「CENTENARY」とは、「CENTENNIAL」と同じ意味で、イギリスで使われる英語で100周年(記念)とか…。あと4年で100周年を迎えようとする本校にふさわしく、関係するものすべてが大計を目指す意識を持ち続けるために名づけました。